

素案 2021.12.22

京都国際平和構築センター主催

オンライン・セミナー

2022年1月22日 午後8時 日本時間

講師 西田恒夫

国連大学理事 元国連大使 元カナダ大使兼 ICAO 日本政府代表

19:50 オンライン・リンク開始

20:00 講演・意見交換会の説明

20:05 開会の挨拶 明石康 京都国際平和構築センター名誉会長

20:10 基調講演

テーマ 「不穏な年 2022年—アジアの視点」

西田恒夫 元外務省外務審議官(政務担当)、元カナダ・国連大使

20:30 パネル討論

杉田弘毅 共同通信特別編集委員

水野孝昭 神田外国語大学教授、元朝日新聞編集委員(提案)

20:40 質疑応答 自由討論

21:25 案内

21:39 終了

西田 恒夫



東京出身。1970年東京大学法学部卒業。外務省入省。1999年在ロサンゼルス日本国総領事、2001年経済協力局長、2002年総合外交政策局長、2005年外務審議官(政務担当)、2007年特命全権大使カナダ国駐箚兼国際民間航空機関日本政府代表、2010年特命全権大使国際連合日本政府常駐代表。2014年広島大学平和センター所長、2017年同センター名誉センター長。国際連合大学理事、UCLA(米国)TERASAKI CENTER 理事、及び East West Institute 理事も務める。2019年から神奈川大学学長特別顧問。

杉田弘毅



共同通信社特別編集委員。1957年生まれ。一橋大学法学部を卒業後、共同通信社に入社。テヘラン支局長、ワシントン特派員、ワシントン支局長、編集委員室長、論説委員長などを経て現職。安倍ジャーナリスト・フェローシップ選考委員、東京－北京フォーラム実行委員、早稲田大学大学院アジア太平洋研究科講師なども務める。多彩な言論活動で国際報道の質を高めてきたとして、2021年度日本記者クラブ賞を受賞。2021年、国際新聞編集者協会理事に就任。著書に『検証 非核の選択』（岩波書店）、『アメリカはなぜ変わるのか』（ちくま新書）、『入門 トランプ政権』（共同通信社）、『「ポスト・グローバル時代」の地政学』（新潮選書）、『アメリカの制裁外交』（岩波新書）など。

水野 孝昭



神田外語大学教授（国際関係論、ジャーナリズム論）。東京大学法学部卒。ジョンズホプキンス大学高等国際問題研究大学院(SAIS)修士。朝日新聞ハノイ支局長、ワシントン特派員、ニューヨーク支局長、論説委員を経て現職。この間、米国立東西センターや中国現代国際関係研究員で客員研究員を務める。東京大学大学院・教養学部、法政大学、慶應義塾大学、大妻女子大学などで講師を務める。著書に『ベトナムの戦後』（めこん）、『偽りのホワイトハウス』（朝日新聞出版）、『TheUN on the Ground---体験的国連考』（KUIS グローバル・コミュニケーション研究創刊号）、“Sino-Japan Relationship: Model Case of the quiet fence-mending process under “Cold Peace” (Case Studies on Preventive Diplomacy in the Asia-Pacific, China Foreign Affairs University 所収)、“Visita de Shinzo Abe a China: ¿Una cálida primavera en el gélido sudeste asiático?” (Vanguardia Dossier, no.71 所収)